

7月の行事等のお知らせ

大 会

- ◆ 第21回 兵庫県剣道選手権大会 兼
第71回 全日本剣道選手権大会予選会
- 第36回 兵庫県女子剣道選手権大会 兼
第62回 全日本女子剣道選手権大会予選会 ◆

令和 5年 7月 2日(日)神戸常盤アリーナにおいて見出しの大会が開催されます。要項はホームページ事業計画の要項欄をご覧ください。

コロナ感染の基本的予防対策は継続が必要ですが、観客席への入場制限は特にいたしません。マスク着用、三密を避けるなど個人の判断でお願いいたします。

選手につきましては、全剣連の「大会・審査会におけるマスクの着用について」をご確認の上、マスク又はシールドを着用して試合に臨んでください。試合時以外については個人の判断とします。

申込期日は 6月 5日(月) 必着です。期日厳守にご協力ください。

- ◆ 第18回 兵庫県杖道大会 ◆

令和5年 7月 8日(土)神戸常盤アリーナにおいて見出しの大会が開催されます。要項はホームページ事業計画の要項欄をご覧ください。

コロナ感染の基本的予防対策は継続が必要ですが、観客席への入場制限は特にいたしません。マスク着用、三密を避けるなど個人の判断でお願いいたします。

選手につきましては、全剣連の「大会・審査会におけるマスクの着用について」をご確認の上、マスクを着用して試合に臨んでください。試合時以外については個人の判断とします。

申込期日は 6月12日(月) 必着です。期日厳守にご協力ください。

審 査 会

審査会における登録料は、合格者に振込用紙をお渡ししますので、各自で振り込みをしていただくようになります。審査会当日の支払いはありません。

コロナ感染に関する基本的予防措置は継続の状況です。来場制限は特にしませんが、三密を避けるためにもできるだけご遠慮ください。会場によって状況が異なりますので、会場での指示に従っていただくようお願いいたします。

受審者はマスク又はシールドを着用して受審し、会場内では係の指示に従ってください。

- ◆ 剣道級位審査会 ◆

- | | |
|---------|--|
| 1. 日 時 | 令和 5年 7月22日(土) 午後 1 時受付 |
| 2. 会 場 | 兵庫県立武道館
姫路市西延末504 TEL (079)292-8210 |
| 3. 受審資格 | ① 当連盟の会員であること。
② 受審申込書の受審資格欄を参照してください。 |
| 4. 審査課目 | ① 「一級審査実施要領」
② 「木刀による剣道基本技稽古法 基本1～9」(一級審査実施要領合格者のみ)
(木刀は規格[全長102cm]の太刀を使用してください。) |
| 5. 登録料 | 級・段位審査料等並びに登録料一覧表(29.4.1改正 版)を参照してください。 |
| 6. 入会金 | 少年団体・学校団体から受審した合格者は、入会金(1000円)を納入する必要があります。 |
| 7. 申込方法 | 受審申込書に審査料を添えて申し込みください。
なお、特別な事情のある方は申込時にお知らせください。
少年団体と一般団体とを併設されている団体は、どちらから申し込みをするのかを明確にしてください。(一般団体からの申し込みには年会費が必要になります。) |
| 8. 申込期日 | 令和 5年 7月10日(月) 必着 |

講習会

コロナ感染に関する基本的予防措置は継続の状況です。来場制限は特にしませんが、三密を避けるためにもできるだけご遠慮ください。会場によって状況が異なりますので、会場での指示に従っていただくようお願いいたします。

受講者はマスク又はシールド等を用意し、係の指示に従ってください。

◆ 杖道審判法講習会 ◆

1. 日 時 令和 5年 7月 2日 (日) 12:30受付
2. 会 場 神戸市立王子スポーツセンター内 剣道場
神戸市灘区青谷町1-1-1
3. 参加資格 ① 当連盟の会員であること。(令和5年度会員登録済みのこと)
② 級・段位に制限を設けない。
4. 講習内容 指導法並びに審判法の伝達
5. 講 師 松村勇造教士・高田浩和教士
6. 受講料 1人につき 1,000円
7. 申込方法 講習会申込書に参加料を添えて申し込みください。
8. 申込期日 **令和 5年 6月19日(月) 必着**

◆ 日本剣道形講習会 (神戸地区主管) ◆

- (1) 日 時 令和 5年 7月30日 (日) 午前9時受付
- (2) 会 場 神戸市立中央体育館 TEL 078-341-7971
兵庫県神戸市中央区楠町4-1-1
- (3) 受講資格 ① 当連盟の会員であること。
② 剣道初～五段受審予定者。六・七段受審予定の方も受講できます。
③ 教・錬士称号受審予定者受講必須講習会の一つです。
- (4) 講 師 兵剣連派遣講師 永松眞澄範士・伊藤明裕教士
地元講師
- (5) 講習内容 「日本剣道形解説書」による説明、実習及び講師による指導。
- (6) 持参資料 「日本剣道形解説書」(当日販売もあります。200円)
- (7) 受講料 1人につき 2,000円。
- (8) 携行品 剣道着、袴、垂、木刀(四段以上受審予定者は小太刀も)及び筆記用具。
「日本剣道形解説書」(当日販売もあります200円)
- (9) 申込方法 講習会申込書に受講料を添えて申込みください。
- (10) 申込期日 **令和 5年 7月18日(火) 必着**
- (11) 安全対策 本講習会中の負傷事故について、主催者は応急処置以外の責任は負わないものとします。負傷事故の出ないように受講者は十分な用具管理と健康管理をお願いします。
- (12) その他 * 講習会の最後に認定審査があります。合格者には「認定書」を交付します。段位審査会申込時「認定書」所有を申込書備考欄に明記し、審査当日「認定書」を持参すれば、日本剣道形の審査が免除されます。
「認定書」の有効期間は講習会開催日(認定書日付)から1年間です。
* 会場の事情により、申込多数の場合は申込期日前に締切る場合がありますのでご了承ください。

大会報告

◇ 第38回兵庫県剣道年齢別男子選手権大会

兵庫県ねんりん剣道交流大会 ◇

令和5年5月13日(土) 於 神戸常盤アリーナ

種 別	優 勝	第 二 位	第 三 位
18歳以上 25歳未満 の部	大津 遼馬 (兵庫県警察剣友会)	政本 亜沙斗 (姫路少年刑務所)	水田 貴大(グローリー(株)本社)
			肘岡 駿季(兵庫県警察剣友会)
25歳以上 35歳未満 の部	蓮井 寿宗 (播磨社会復帰促進センター)	中原 良平 (姫路少年刑務所)	中村 和憲(グローリー(株)本社)
			大塚 俊希(剣成会)
35歳以上 45歳未満 の部	江口 良 (兵庫県警察師範教師会)	坂田圭志竜 (兵庫県警察師範教師会)	水井 聡(播磨社会復帰促進センター)
			東元 靖幸(川崎重工業(株)明石工場)
45歳以上 55歳未満 の部	杉本 健介 (兵庫県警察師範教師会)	松浦 武士 (兵庫県学校剣道連盟)	服部 剛士(瓦木剣道教室)
			高橋 利典(宍粟剣道連盟)
55歳以上 60歳未満 の部	阿部 始郎 (兵庫県学校剣道連盟)	渋谷 誠 (西宮剣友会)	佐藤 直明(兵庫県警察師範教師会)
			笠松 兼一(淡路剣道協会)
種 別	優 勝	第 二 位	第 三 位
60歳以上 65歳未満 の部	阿野 真人 (大蔵剣友会)	木村 忠司 (六甲剣友会)	山中 博幸(西代剣道倶楽部)
			西 範英(清州館)
65歳以上	新田 優 (加古川市剣道連盟)	野田 寅夫 (尼崎市剣連連盟)	加賀 満(星和台剣友会)
			飛岡 悟(兵庫県庁剣道部)

◇ 第2回兵庫県女子剣道交流大会 ◇

種 別	優 勝	第 二 位	第 三 位
18歳以上 30歳未満 の部	松本 泉帆 (兵庫県警察剣友会)	白石 依子 (園田学園女子大学)	横澤 めい(兵庫県警察剣友会)
			東 姫花(関西学院大学)
30歳以上 40歳未満 の部	木村 歩由実 (兵庫県警察剣友会)		
40歳以上 50歳未満 の部	水井 知子 (印南剣道場)	奈木 朋子 (淡路剣道協会)	高梨 琴子(グローリー(株)本社)
			小巻 智恵(剣成会)
50歳以上	尾原 美恵 (三菱電機伊丹紅菱会)	井戸 英津子 (西宮剣志会)	

審査会報告

【剣道】

[4月22日(土) 伊丹市立伊丹小学校]

級位	受審者 (名)	実技合格者 (名)	基本技不合格者 (名)	合格率 (%)	認定者 (名)
一級	107	107	0	100	2

[4月23日(日) 神戸常盤アリーナ]

段位	受審者 (名)	実技合格 (名)	形不合格 (名)	学科不 合格 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
初段	380	356	0	4	352	92.6
二段	150	134	0	0	134	89.3
三段	30	27	0	5	22	73.3

【居合道】

[5月7日(日) 神戸市立王子スポーツセンター]

区分	受審者 (名)	実技合格 (名)	学科不合格 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)	認定者 (名)
一級	8	8	—	8	100.0	5
初段	13	13	0	13	100.0	
二段	4	4	0	4	10.0	
三段	4	4	0	4	100.0	
四段	5	3	0	3	60.0	
五段	5	2	0	2	40.0	

事務局からのお知らせ

1. 全日本剣道連盟剣道有功賞・兵剣連表彰規程に該当される方がいらっしゃる加盟団体は推薦書の提出をお願いいたします。
2. 傷害保険加入についてのお願い
稽古会や審査会・講習会等での事故や怪我に対応するため、スポーツ傷害保険への加入をお勧めします。少年団体は、ほぼ加入されていると思いますが一般団体についても加入するようにお願いします。特に、会員に対して開放している日・祝日の稽古会は一般団体の会員は個人で参加していますが、各自安全に配慮していても防ぎきれない事故や怪我に対処するには傷害保険に加入しておくことが必要でしょう。
あわせて学校団体所属の会員は学校へ、少年団体所属の会員は団体代表者へ連絡して稽古会に参加してください。

以上